

教員公募要領



京都工芸繊維大学
Kyoto Institute of Technology

公募開始日	令和7年9月12日
求人件名	京都工芸繊維大学 助教 の採用（テニュアトラック）
機関名	京都工芸繊維大学
機関URL	https://www.kit.ac.jp/
採用組織名	別紙のとおり
機関種別	国立大学
公募のURL	https://www.kit.ac.jp/uni_index/teacher-employment/
担当業務・担当科目等	別紙のとおり
勤務地（住所）	京都工芸繊維大学松ヶ崎キャンパス（京都市左京区松ヶ崎）
募集人員	別紙のとおり
採用予定日	令和8年4月1日
研究分野	別紙のとおり
職種	助教
勤務形態	常勤（テニュアトラック）
任期	任期あり（5年）・再任不可
勤務地（都道府県）	京都府
応募資格	次のいずれにも該当する者 ・公募する研究分野又は関連する分野で博士の学位を有する者又は研究上の業績が博士の学位を有する者に準ずると認められる者 ・公募する専門分野に関して顕著な研究・教育業績を有し、熱心な研究・教育意欲を有する者 ※その他の応募資格は、別紙のとおり
待遇	本募集により採用された場合の給与は年俸制となります。詳細は、本学規則集(下記サイト)をご確認ください。 https://www.kit.ac.jp/01/prescriptions/aggregate/catalog/index.htm 任期：5年を原則とするテニュアトラック制度 独立した研究室が運営できるよう、テニュアトラック期間中の研究費支援、研究スペースの確保、メンターの配置等の支援を行います。 着任後、年次評価、中間審査、最終審査（テニュア審査）を行います。 最終審査の結果、合格すればテニュアポストである准教授に昇任します。中間審査で研究計画の進捗が早く、かつテニュアトラック期間中の研究業績が特に優れている場合は、その時点でテニュアポストである准教授としての適格性について審査する場合があります。 なお、最終審査でテニュアポストである准教授への昇任が見送られた場合は、テニュアトラック期間の満了をもって労働契約期間を終了します。 また、テニュアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業等により研究活動が滞ることがないよう研究支援員を配置すると共に、休業期間に応じテニュアトラック期間を延長することができます。 研究環境：採用者には研究スペースと1年目にスタートアップ研究費（300万円）、2年目以降は学内基準に基づく研究費が提供され、エフォート率65%の研究時間がテニュアトラック期間にわたり保障されます。 最終審査：採用者はテニュアトラック期間満了の6月前までに最終審査及びテニュア授与の判定を行い、合格者は准教授として昇任します。 最終審査は中間審査結果、直近の年次評価結果及び改善要求した事柄の是正状況を確認のうえ、研究計画の進捗状況、テニュアトラック期間中の研究業績及びテニュアポストである准教授の適格性について審査を行います。 給与（年収）：500万円～ ※経歴等により決定されます。 勤務時間等：専門業務型裁量労働制（みなし労働時間：1日7時間45分、週38時間45分） 試用期間：有り（6ヶ月） 受動喫煙防止のための取組：施設内禁煙（ただし指定場所に喫煙所設置）

教員公募要領



京 都 工 芸 繊 維 大 学
Kyoto Institute of Technology

応募締切日	令和7年10月22日（水）（17時必着）
応募書類	履歴書（上記「公募のURL」より「様式1」をダウンロード）
	研究業績リスト（上記「公募のURL」より「様式2」をダウンロード。「著書」「学术论文(査読あり)」「参考論文(査読なし)」「口頭発表」「その他」に分類すること）
	応募先の組織名が確認できる書類（上記「公募のURL」より「様式3」をダウンロード）
	競争的資金獲得状況一覧（年度、研究テーマ、資金名称、代表者・分担者の別、金額などを記載すること。これまでに競争的資金の獲得実績が無い場合はその旨を記載）
	主要な著書、論文5編（別刷り、コピー可）各1部
	教育に関するこれまでの経過と今後の計画（1000字程度の日本語または500語程度の英語）
	研究に関するこれまでの経過と今後の計画（1000字程度の日本語または500語程度の英語）
	応募者について照会が可能な方2名の氏名と連絡先（電子メールアドレスも含む）
	その他必要な応募書類は、別紙のとおり。
選考方法	書類審査を通過した候補者には面接を行います。また、選考の過程で追加書類の提出をお願いすることがあります。なお、これらの場合において旅費、郵送料等の費用は応募者の負担となります。
問い合わせ先	京都工芸繊維大学 人事労務課 問い合わせ先のメールアドレスについては、別紙のとおり。
応募書類提出先	上記の書類の電子データ（PDF形式）を京都工芸繊維大学人事労務課までEメールにて提出してください。提出先のメールアドレスについては、別紙のとおり。 ※メールアドレスの件名は、「京都工芸繊維大学〇〇〇〇学系（別紙の募集組織名を記載）応募書類の送付」としてください。 なお、電子データの容量の都合上、10Mを超える場合は、分割して送付いただくか、大容量ファイル送信システムを利用してください。 応募受領後、受領確認メールを送信します。数日お待ちいただいても受領確認メールが届かない場合は、ご連絡ください。 電子媒体に格納して郵送する場合は以下の住所まで送付してください。 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎 京都工芸繊維大学 人事労務課 ※封筒に「〇〇〇〇学系（別紙の募集組織名を記載）応募書類」と朱書きし、簡易書留または宅配便にて送付して下さい。
備考	応募書類は返却しません。また、応募書類および書類に記載された情報は本選考の用途以外には使用しません。
	本学は、多様な人材が活躍できるダイバーシティ研究環境の実現に向けて取り組んでおり、男女共同参画社会基本法および男女共同参画基本計画の趣旨を尊重し、男女雇用機会均等法第5条に則した人事を行っています。
	別紙に記載の担当業務以外に、入試等の大学運営、社会貢献等に関わる業務も担っていただきます。
	適任者がいない場合には、今回の採用を見送ることもあります。
	※その他の特記事項については、別紙のとおり。

No.	採用組織名	募集する分野	募集の背景等	募集人員	担当業務・担当科目等	研究分野	応募資格	応募書類	備考	問い合わせ・提出先
1	材料化学系	量子化学計算分野	【募集の背景・内容等の説明】 京都工芸繊維大学材料化学系では、量子化学計算分野におけるデニュアトラック助教を1名募集することになりました。この募集では、量子化学・計算化学の分野を基盤として、その手法を用いて化学現象の本質を明らかにし、化学反応の追跡や材料の物性発現に関する研究が遂行できる方を求めます。さらに、それらの知見に基づき、持続可能な社会の実現に資する材料、特に環境・エネルギー関連材料の設計に関わる学際的な研究を推し進めることのできる新進気鋭の若手人材であること。また、本公募は、本学材料化学系の将来を担う人材を募集するものであり、教育研究活動に大きな情熱を持ち、協調性をもって、本学系に積極的に貢献していただける方を求めます。 【配属部署】 既設部署 教員組織：材料化学系 関連する教育組織： (学部)応用化学課程材料化学デザインコース (大学院)材料創製化学専攻〔博士前期課程〕、及び、物質・材料化学専攻〔博士後期課程〕	1名	担当業務： ・量子化学、計算化学を学術基盤とした先進的研究の実施 ・左記専門分野における大学院・学部生に対する教育・研究指導 担当科目： ・「化学や材料」に関連した学部、大学院科目	大分類：ナノテク・材料 小分類：基礎物理化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：無機・錯体化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：無機物質、無機材料化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：グリーンサステイナブルケミストリー、環境化学 大分類：ナノテク・材料 小分類：ナノ構造化学	・博士の学位を有すること ・業務の遂行に必要な高い日本語能力を有する方		jinji-saiyou23@jim.kit.ac.jp	
2	材料化学系	エレクトロニクス材料分野	【募集の背景・内容等の説明】 京都工芸繊維大学材料化学系では、次世代エレクトロニクス分野におけるデニュアトラック助教を1名募集することになりました。この募集では、材料化学・電気電子物性・コンピュータ科学やデータ科学などの基礎研究分野を基盤として、その手法を用いて次世代エレクトロニクスの材料集積や信頼性における科学を明らかにし、エレクトロニクス関連の基礎研究・開発が遂行できる方を求めます。さらに、それらの知見に基づき、新規機能性材料や複合材料、特に、持続可能な社会の実現に資する材料・デバイス製造プロセス、およびその信頼性の設計に関連し、今後数年にわたってエレクトロニクスの技術力向上に貢献する研究開発を推し進めることのできる新進気鋭の若手人材であること。また、本公募は、本学材料化学系の将来を担う人材を募集するものであり、教育研究活動に大きな情熱を持ち、協調性をもって、本学系に積極的に貢献していただける方を求めます。 【配属部署】 教員組織：材料化学系 関連する教育組織： (学部)応用化学課程材料化学デザインコース (大学院)材料創製化学専攻〔博士前期課程〕、及び、物質・材料化学専攻〔博士後期課程〕	1名	担当業務： ・エレクトロニクス関連の材料化学、機械・電気・電子工学を学術基盤とした先進的研究の実施 ・左記専門分野における大学院・学部生に対する教育・研究指導。 担当科目： ・「化学や材料」に関連した学部、大学院科目	大分類：ナノテク・材料 小分類：複合材料、界面 大分類：ナノテク・材料 小分類：薄膜、表面界面物性 大分類：ナノテク・材料 小分類：ナノ材料科学 大分類：ものづくり技術 小分類：電子デバイス、電子機器 大分類：ものづくり技術 小分類：電気電子材料工学	・博士の学位を有すること ・業務の遂行に必要な高い日本語能力を有する方		jinji-saiyou24@jim.kit.ac.jp	
3	情報工学・人間科学系	情報学基礎、計算基盤分野	情報学基礎論、データ工学、計算科学あるいは高性能計算に関する最先端研究を行うデニュアトラック助教または准教授1名を募集して、高度情報専門人材の確保に向けた研究・教育体制を強化する。 AIの高度な知能は、本質的にデータ駆動型であり、膨大かつ良質なデータと、それを効率的に学習・推論するアルゴリズムによって形成される。データ工学や統計科学は、このAIの「燃料」となるデータを戦略的に収集・管理・処理し、価値を引き出すための基盤技術である。また、AIの社会実装が進むにつれて、その情報セキュリティの確保はデータ処理からモデル適用に至るあらゆる段階で重要となる。これらのデータを活用してAIの「思考エンジン」を構築するのが機械学習である。さらに、AIモデルの判断根拠を人間が理解できる形で提示する説明可能AI(XAI)、AIモデルの公平性・頑健性・再現性を確保する技術、そしてこれらの高度な機械学習アルゴリズムを効率的に実行するためのハードウェア・ソフトウェア協調設計やAI基盤ソフトウェアの開発も、AI研究を加速させる上で不可欠である。これらの分野は、「情報学基礎」としての学習理論・アルゴリズム開発、「計算基盤」としてのデータ処理・AI実行プラットフォーム構築に深く関わる。 これらの背景を踏まえ、本学系では、情報学基礎・計算基盤（情報学基礎理論、数理情報学、マルチメディア・データベース、高性能計算分野）のデニュアトラック助教または准教授1名を募集し、情報工学課程・専攻におけるこれらの分野における教育と研究を強化し、産官学連携などによる社会展開を積極的に推進することで、次世代の技術革新と社会貢献を目指す。	1名	担当業務： 情報基礎・計算基盤(情報学基礎理論、数理情報学、マルチメディア・データベース、高性能計算分野)に関する教育研究および学生への研究指導、大学運営業務 担当科目： 情報工学(特に右記の研究分野に関する専門科目)に関連した学部、大学院科目	大分類：情報通信 小分類：情報学基礎論 大分類：情報通信 小分類：数理情報学 大分類：情報通信 小分類：データベース 大分類：情報通信 小分類：計算科学 大分類：情報通信 小分類：高性能計算	日本語および英語による実験・演習科目の担当、講義、研究指導が可能であること。	デニュアトラック助教の公募ですが、これまでの研究業績、外部資金獲得状況等を考慮し、准教授として採用する場合があります。	jinji-saiyou25@jim.kit.ac.jp	
4	デザイン・建築学系	世界建築史・デザイン史分野	本学系の強みの一つであるTransitional Designの分野をさらに強化すべく、デザイン学と建築学をまたぐ専門性を有する人材を登用し、他大学にない本学の個性を磨いていく。具体的には美術・デザイン史と建築史を横断する研究領域を専門とする人材の登用により、両分野のさらなる融合を図り、新たな研究視野を牽引する拠点となることを目指す。とりわけ研究成果の国際発信のための高い能力を有し、幅広い国際ネットワークを有する人材の雇用により、当該分野の新たな展開を本学が先頭に立てて推進することを目指す。	1名	担当業務： 世界建築史、日本建築史、美術史、デザイン史に関する教育研究、建築設計演習および上記専門分野に関する学生の指導 担当科目： 「世界建築史」、「日本建築史」、「デザイン史」、「建築設計演習」に関する学部及び大学院科目、ロンドン芸術大学ダブル・ディグリー・プログラム(Global Collaborative Design Practice)における大学院講義・演習科目	大分類：社会基盤 小分類：建築史、意匠 大分類：人文・社会 小分類：美術史 大分類：人文・社会 小分類：デザイン学	・デザイン学と建築学を横断する教育・研究業績があること ・日本のデザイン学、建築学に関する研究についての英語による十分な研究業績を有していること ・大学における教育経験を有していること ・欧米を中心とする国際的な教育・研究ネットワークを有しており、さらに発展させることが期待できること		jinji-saiyou26@jim.kit.ac.jp	